

# 企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2011年3月調査）

2011年4月

株式会社 日通総合研究所

## 目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向 .....	3
2. 輸送機関利用の動向 .....	7
(1) 一般トラック .....	8
(2) 特別積合せトラック .....	9
(3) 宅配便 .....	10
(4) 鉄道コンテナ .....	11
(5) 内航コンテナ .....	12
(6) 国内航空 .....	13
3. 輸出入貨物量の動向 .....	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー .....	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー .....	16
(3) 国際航空 ー輸出ー .....	17
(4) 国際航空 ー輸入ー .....	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向 .....	19
(1) 在庫量 ー原材料ー .....	20
(2) 在庫量 ー製品ー .....	21
(3) 営業倉庫保管量 .....	22
5. 運賃・料金の動向 .....	23
(1) 一般トラック運賃 .....	24
(2) 特別積合せトラック運賃 .....	25
(3) 鉄道コンテナ運賃 .....	26
(4) 内航コンテナ運賃 .....	27
(5) 国内航空運賃 .....	28
(6) 営業倉庫保管料金 .....	29
6. 物流コスト割合の動向 .....	30

## I. 調査の内容

**目的** : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

**方法** : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標<sup>(\*)</sup>とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[ \begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(\*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

**調査対象** : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

## －今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2011年1～3月の実績（見込み）と2011年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,033社からご協力をいただき、回答率は41.3%となった。

業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

なお、今回調査においては、東日本大震災が発生した3月11日時点で、すでに9割前後の回答が寄せられていた。その後、残りの回答をいただいたが、震災後における郵便事情の混乱などもあって、震災前の回答と震災後の回答とを分類することが困難であるため、両者を分類せずに集計・解析を行った。

震災後、生産・出荷などが減退したことを勘案すると、今回調査結果に関する判断は、実態よりも過大になっている可能性が高いと考えられる。

調査対象企業数と回答企業数

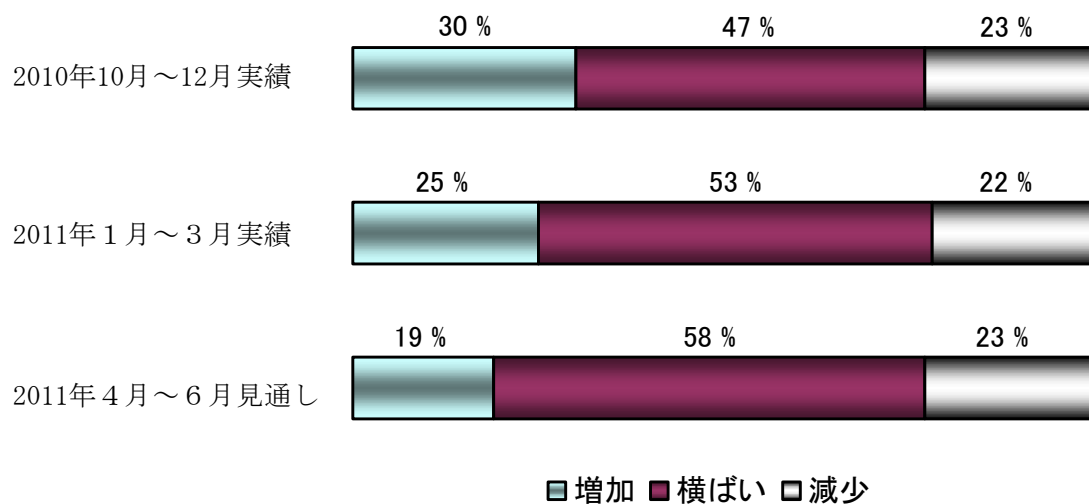
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	99	42.7
	織 維 ・ 衣 服	111	45	40.5
	木 材 ・ 家 具	96	40	41.7
	パ ル プ ・ 紙	107	45	42.1
	化学・プラスチック	238	106	44.5
	窯 業 ・ 土 石	102	47	46.1
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	101	51.5
	金 属 製 品	128	54	42.2
	一 般 機 械	222	97	43.7
	電 気 機 械	333	131	39.3
	輸 送 用 機 械	250	89	35.6
	精 密 機 械	67	18	26.9
	そ の 他	167	54	32.3
	計	2,249	926	41.2
卸 売 業	生 産 財	124	59	47.6
	消 費 財	127	48	37.8
	計	251	107	42.6
合 計		2,500	1,033	41.3

## Ⅱ. 調査の結果

### － 1. 国内向け出荷量の動向－

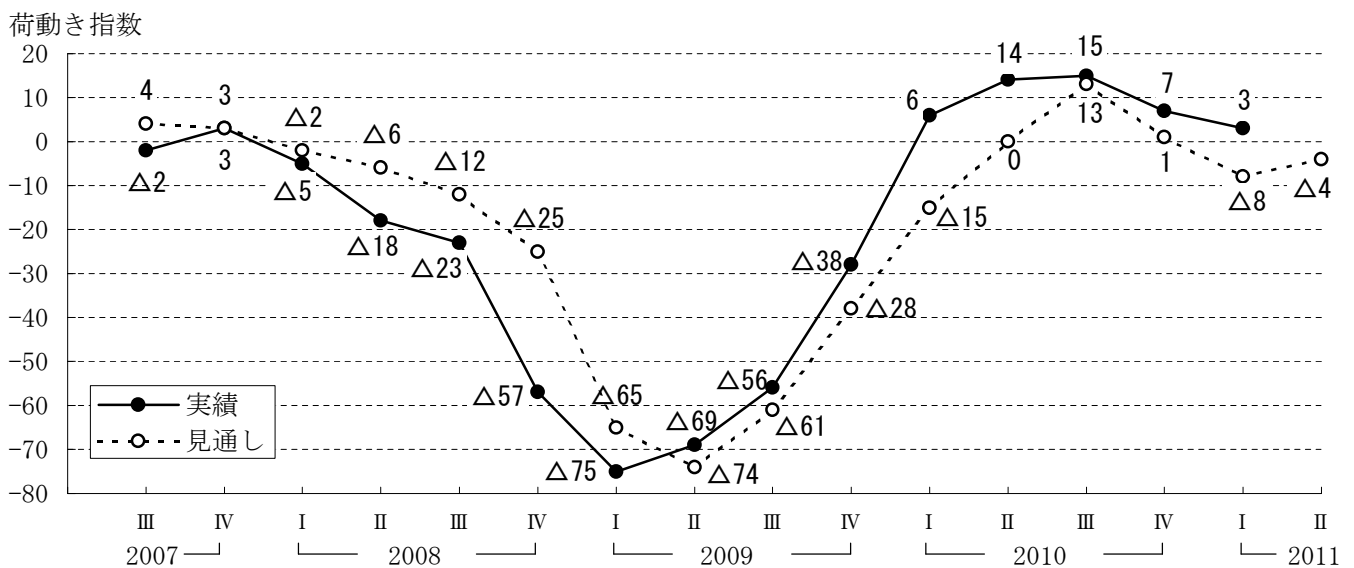
- 2011年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2010年10～12月）実績より5ポイント低下し25%となった。また、「減少」との回答も前期より1ポイント低下し22%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は4ポイント低下してプラス3となった。
- 2011年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2011年1～3月）実績（見込み）より6ポイント低下し19%となり、「減少」との回答は1ポイント上昇し23%になる。この結果『荷動き指数』は7ポイント低下して△4と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2009年1～3月を底に、2010年7～9月まで荷動きの回復・拡大基調が続いたものの、2010年10～12月実績（見込み）では増勢にブレーキがかかった。2011年1～3月見通しでは、『荷動き指数』が△8と水面下に落ち込む見込みであったが、同実績ではプラス水準にとどまり、荷動きには底堅さが窺えた。しかし、2011年4～6月見通しでは、6期ぶりに水面下に落ち込むものとみられる。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2011年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2011年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 2011年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、化学・プラスチック、輸送用機械など8業種において『荷動き指数』がプラスとなる一方で、食料品・飲料、パルプ・紙など7業種がマイナスを示すなど、業種により跛行性がみられた。

■ 2011年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、過半数の業種で前期（2011年1～3月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』が下降し、プラスが見込まれるのは化学・プラスチック、精密機械など4業種となろう。前期まで堅調に推移してきた鉄鋼・非鉄がマイナスに転じるなど、荷動きの減退の動きが広範囲の業種に拡大する見通しである。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業 種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	97	14	55	31	△ 17	97	13	68	19	△ 6
	繊維・衣服	45	22	60	18	4	45	11	62	27	△ 16
	木材・家具	39	23	59	18	5	38	16	66	18	△ 2
	パルプ・紙	44	23	45	32	△ 9	44	16	66	18	△ 2
	化学・プラスチック	105	30	62	8	22	105	22	68	10	12
	窯業・土石	47	19	64	17	2	47	21	64	15	6
	鉄鋼・非鉄	101	30	52	18	12	100	19	59	22	△ 3
	金属製品	52	23	50	27	△ 4	53	21	45	34	△ 13
	一般機械	96	30	51	19	11	95	23	49	28	△ 5
	電気機械	128	26	44	30	△ 4	128	21	46	33	△ 12
	輸送用機械	88	34	47	19	15	86	17	56	27	△ 10
	精密機械	18	22	61	17	5	18	22	67	11	11
	その他	54	22	50	28	△ 6	54	28	52	20	8
計	914	26	53	21	5	910	19	58	23	△ 4	
卸 売 業	生産財	58	22	54	24	△ 2	58	24	52	24	0
	消費財	48	19	60	21	△ 2	48	12	69	19	△ 7
	計	106	20	57	23	△ 3	106	19	59	22	△ 3
合計	1,020	25	53	22	3	1,016	19	58	23	△ 4	

■ 2011年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、北陸・信越、東海、近畿、中国、九州・沖縄でプラスを示し、うち北陸・信越および近畿では2ケタのプラスとなった。一方、北海道、東北、関東、四国ではマイナスとなり、地域差が顕著に表れる結果となった。

■ 2011年4～6月の見通しでは、大半の地域で『荷動き指数』が低下し、荷動きの減退圧力が強まる。地域別にみると、近畿のみプラスにとどまる一方、残り8地域でマイナスとなり、なかでも、北海道および東北では2ケタのマイナスが見込まれる。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	46	20	54	26	△ 6	46	15	57	28	△ 13
東 北	86	19	59	22	△ 3	86	13	64	23	△ 10
関 東	247	24	51	25	△ 1	245	19	57	24	△ 5
北 陸 ・ 信 越	103	40	44	16	24	103	24	51	25	△ 1
東 海	141	25	53	22	3	138	21	56	23	△ 2
近 畿	150	30	51	19	11	150	22	59	19	3
中 国	105	23	56	21	2	106	16	67	17	△ 1
四 国	66	18	55	27	△ 9	66	21	53	26	△ 5
九 州 ・ 沖 縄	76	20	62	18	2	76	18	58	24	△ 6
合 計	1,020	25	53	22	3	1,016	19	58	23	△ 4

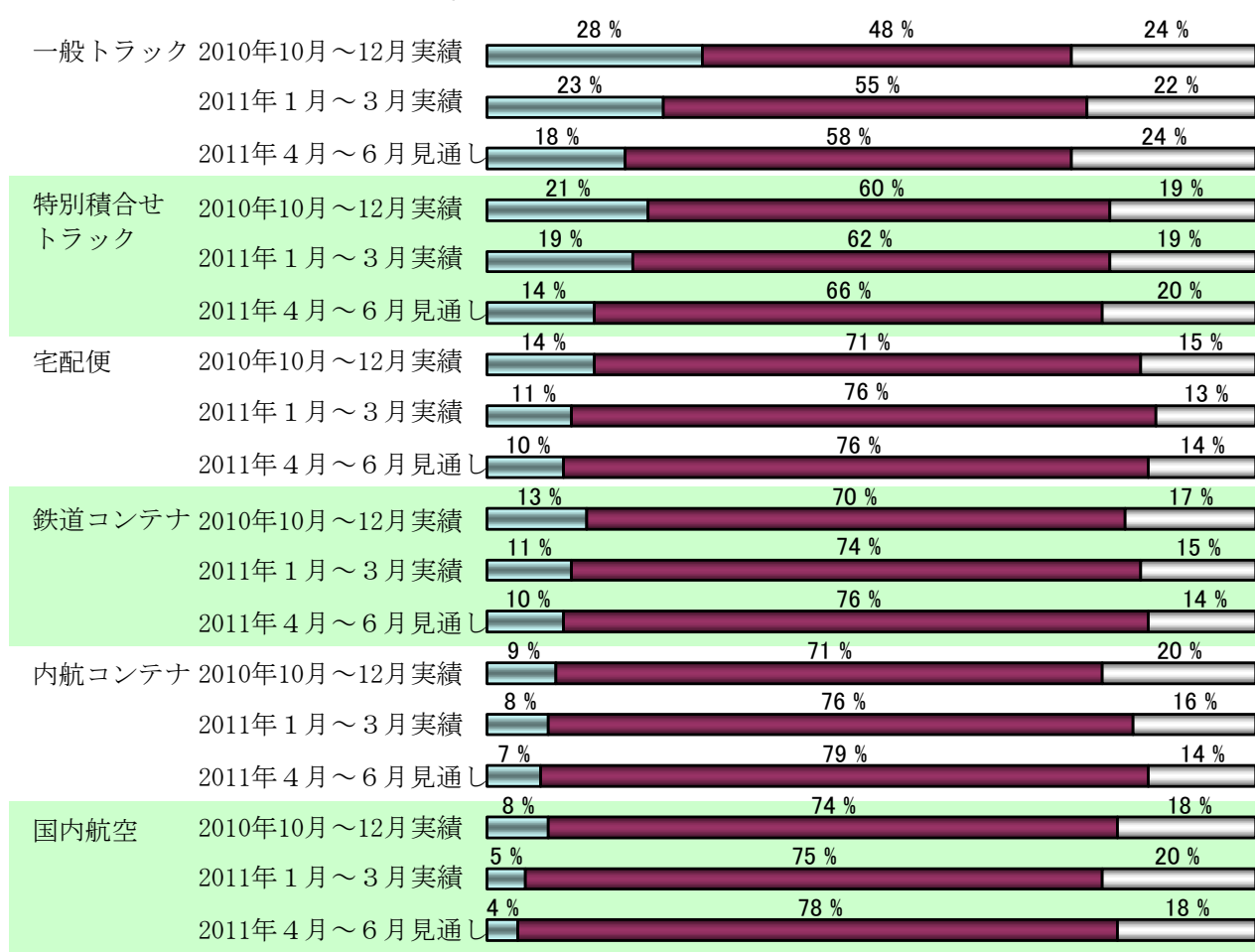


## － 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2011年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、一般トラックでプラス、特別積合せトラックでゼロ水準を示す一方、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空ではマイナスとなった。前期（2010年10～12月）実績との比較では、内航コンテナで3ポイントの改善がみられたが、それ以外の輸送機関では『利用動向指数』が横ばいないしは悪化した。

■ 2011年4～6月の見通しでは、一般トラックおよび特別積合せトラックで『利用動向指数』が大きく低下し、すべての輸送機関でマイナスとなる。また、内航コンテナおよび国内航空では、1ポイントの改善がみられたが、利用回復に向けての足取りは重い。

各輸送機関の利用の実績と見通し



■ 増加 ■ 横ばい □ 減少

(1) 一般トラック

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械など6業種がプラス、窯業・土石など3業種がゼロ水準で、食料品・飲料など6業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』はプラス1で、前期（2010年10～12月）実績からは3ポイント低下した。

■ 2011年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石およびその他の製造業がプラスに浮上する一方、繊維・衣服など5業種がマイナスに落ち込み、マイナスの業種は11業種となる。業種全体の『利用動向指数』は7ポイント低下して△6とマイナスに反転する見通しで、利用は減退に向かうとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	96	11	56	33	△ 22	93	13	65	22	△ 9
	繊維・衣服	40	28	58	14	14	39	12	62	26	△ 14
	木材・家具	39	26	56	18	8	39	13	69	18	△ 5
	パルプ・紙	45	15	49	36	△ 21	45	11	65	24	△ 13
	化学・プラスチック	103	23	64	13	10	103	18	68	14	4
	窯業・土石	46	17	66	17	0	46	24	59	17	7
	鉄鋼・非鉄	98	29	54	17	12	98	19	59	22	△ 3
	金属製品	53	23	51	26	△ 3	53	17	47	36	△ 19
	一般機械	93	27	52	21	6	92	22	50	28	△ 6
	電気機械	121	22	49	29	△ 7	120	17	52	31	△ 14
	輸送用機械	87	32	54	14	18	84	19	57	24	△ 5
	精密機械	16	19	62	19	0	16	13	74	13	0
その他	53	25	50	25	0	52	25	56	19	6	
計	890	23	55	22	1	880	18	59	23	△ 5	
卸売業	生産財	54	22	50	28	△ 6	51	22	49	29	△ 7
	消費財	45	22	54	24	△ 2	44	14	66	20	△ 6
	計	99	22	52	26	△ 4	95	18	57	25	△ 7
合計	989	23	55	22	1	975	18	58	24	△ 6	

## (2) 特別積合せトラック

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、化学・プラスチックなど7業種がプラス、生産財卸がゼロ水準で、食料品・飲料など7業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はゼロ水準で、前期（2010年10～12月）実績からは2ポイント低下した。

■ 2011年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、大半の業種で『利用動向指数』が悪化する。輸送用機械および生産財卸がマイナスに落ち込み、木材・家具およびパルプ・紙もゼロ水準まで下降することなどにより、業種全体の『利用動向指数』は△6と6ポイント低下する見通しで、利用は縮小に向かうとみられる。

### 特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	66	15	59	26	△11	66	17	59	24	△7
	繊維・衣服	33	18	61	21	△3	32	16	56	28	△12
	木材・家具	25	16	76	8	8	25	8	84	8	0
	パルプ・紙	27	22	59	19	3	27	11	78	11	0
	化学・プラスチック	88	22	74	4	18	88	17	76	7	10
	窯業・土石	32	19	66	15	4	32	16	78	6	10
	鉄鋼・非鉄	61	16	64	20	△4	60	10	65	25	△15
	金属製品	39	18	56	26	△8	39	15	49	36	△21
	一般機械	76	18	62	20	△2	75	14	63	23	△9
	電気機械	101	20	51	29	△9	100	11	63	26	△15
	輸送用機械	55	20	65	15	5	54	9	74	17	△8
	精密機械	11	9	73	18	△9	11	9	73	18	△9
	その他	40	28	50	22	6	39	23	56	21	2
計	654	19	62	19	0	648	14	66	20	△6	
卸売業	生産財	38	21	58	21	0	38	21	47	32	△11
	消費財	32	13	78	9	4	32	13	81	6	7
	計	70	17	67	16	1	70	17	63	20	△3
合計	724	19	62	19	0	718	14	66	20	△6	

### (3) 宅配便

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、消費財卸など7業種がプラス、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、その他の製造業など5業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△2で、前期（2010年10～12月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、過半数の業種で悪化方向に動き、精密機械、消費財卸、生産財卸の3業種がプラス、木材・家具および化学・プラスチックの2業種がゼロ水準で、残り10業種がマイナスとなる。業種全体の『利用動向指数』は△4と2ポイント低下する見込みで、利用の減退圧力が若干強まる見通しである。

#### 宅配便利用の実績と見通し

業 種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	70	10	71	19	△9	70	10	76	14	△4
	繊維・衣服	34	9	82	9	0	33	6	79	15	△9
	木材・家具	29	7	79	14	△7	29	10	80	10	0
	パルプ・紙	22	9	73	18	△9	22	9	77	14	△5
	化学・プラスチック	83	8	85	7	1	83	7	86	7	0
	窯業・土石	32	9	85	6	3	32	3	91	6	△3
	鉄鋼・非鉄	59	8	84	8	0	59	7	81	12	△5
	金属製品	48	10	69	21	△11	48	8	71	21	△13
	一般機械	88	13	76	11	2	88	11	72	17	△6
	電気機械	107	17	66	17	0	105	12	65	23	△11
	輸送用機械	70	17	73	10	7	69	10	74	16	△6
精密機械	18	11	83	6	5	18	11	83	6	5	
その他	40	7	70	23	△16	39	2	77	21	△19	
計	700	11	76	13	△2	695	9	76	15	△6	
卸 売 業	生産財	46	13	78	9	4	45	18	71	11	7
	消費財	34	15	79	6	9	34	15	79	6	9
	計	80	14	79	7	7	79	16	75	9	7
合計	780	11	76	13	△2	774	10	76	14	△4	

#### (4) 鉄道コンテナ

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具など4業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、生産財卸など10業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△4で、前期（2010年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械などでマイナス幅の縮小が見込まれる一方、繊維・衣服および輸送用機械が水面下に沈むなど、業種によりバラツキがみられる。業種全体の『利用動向指数』は△4と横ばいで推移する見通しで、利用の減退が続くとみられる。

#### 鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	47	9	70	21	△12	47	11	72	17	△6
	繊維・衣服	14	0	100	0	0	13	0	92	8	△8
	木材・家具	12	17	83	0	17	12	8	92	0	8
	パルプ・紙	32	12	69	19	△7	32	3	75	22	△19
	化学・プラスチック	78	17	78	5	12	78	15	79	6	9
	窯業・土石	20	5	80	15	△10	20	5	85	10	△5
	鉄鋼・非鉄	36	14	69	17	△3	36	11	72	17	△6
	金属製品	19	5	63	32	△27	19	0	74	26	△26
	一般機械	35	17	74	9	8	35	14	75	11	3
	電気機械	38	5	69	26	△21	38	16	63	21	△5
	輸送用機械	25	16	72	12	4	25	16	64	20	△4
	精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	その他	26	3	85	12	△9	26	3	85	12	△9
計	390	11	75	14	△3	389	10	76	14	△4	
卸売業	生産財	10	0	70	30	△30	10	0	80	20	△20
	消費財	12	17	58	25	△8	12	8	75	17	△9
	計	22	9	64	27	△18	22	5	77	18	△13
合計	412	11	74	15	△4	411	10	76	14	△4	

(5) 内航コンテナ

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械など3業種がプラス、一般機械がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△8で、前期（2010年10～12月）実績からは3ポイント上昇した。

■ 2011年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械がマイナスに落ち込む以外は大きな動きはみられない。業種全体の『利用動向指数』は強含み横ばいで推移し、利用は引き続き減退する見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	23	13	65	22	△9	23	4	79	17	△13
	繊維・衣服	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	木材・家具	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
	パルプ・紙	15	20	67	13	7	15	13	80	7	6
	化学・プラスチック	41	10	88	2	8	41	7	91	2	5
	窯業・土石	16	0	81	19	△19	16	12	69	19	△7
	鉄鋼・非鉄	22	4	73	23	△19	22	0	77	23	△23
	金属製品	16	6	75	19	△13	16	6	75	19	△13
	一般機械	30	3	94	3	0	30	0	90	10	△10
	電気機械	28	4	71	25	△21	28	7	75	18	△11
	輸送用機械	23	26	65	9	17	23	26	70	4	22
精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17	
その他	16	6	81	13	△7	16	6	81	13	△7	
計	250	8	78	14	△6	250	7	81	12	△5	
卸売業	生産財	8	0	50	50	△50	8	0	63	37	△37
	消費財	9	0	56	44	△44	9	0	67	33	△33
	計	17	0	53	47	△47	17	0	65	35	△35
合計	267	8	76	16	△8	267	7	79	14	△7	

## (6) 国内航空

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械が唯一プラスを示し、繊維・衣服および木材・家具の2業種がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△15で、前期（2010年10～12月）実績からは5ポイント低下した。

■ 2011年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具が水面下に沈む以外は大きな動きはみられず、業種全体の『利用動向指数』は強含み横ばいで推移しよう。この結果、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

### 国内航空利用の実績と見通し

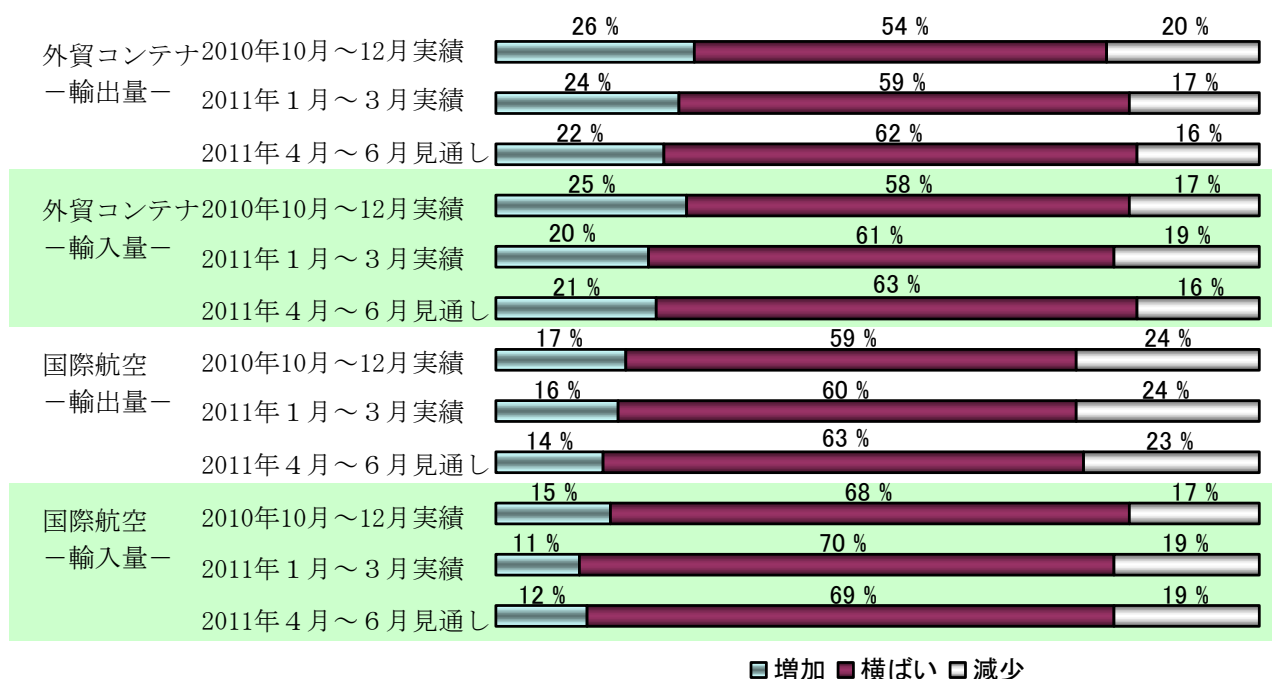
業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	20	0	80	20	△20	20	0	85	15	△15
	繊維・衣服	11	9	82	9	0	11	9	82	9	0
	木材・家具	7	14	72	14	0	7	0	86	14	△14
	パルプ・紙	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
	化学・プラスチック	34	0	91	9	△9	34	3	88	9	△6
	窯業・土石	13	0	69	31	△31	13	0	77	23	△23
	鉄鋼・非鉄	19	0	89	11	△11	19	0	89	11	△11
	金属製品	18	0	83	17	△17	18	0	83	17	△17
	一般機械	47	2	87	11	△9	47	4	87	9	△5
	電気機械	62	6	63	31	△25	62	3	68	29	△26
	輸送用機械	25	16	76	8	8	25	12	80	8	4
	精密機械	12	0	83	17	△17	12	0	83	17	△17
その他	16	6	50	44	△38	16	6	56	38	△32	
計	289	4	77	19	△15	289	3	80	17	△14	
卸売業	生産財	13	15	38	47	△32	13	15	38	47	△32
	消費財	12	8	67	25	△17	12	8	67	25	△17
	計	25	12	52	36	△24	25	12	52	36	△24
合計	314	5	75	20	△15	314	4	78	18	△14	

### － 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナの輸出・輸入ではプラスを示す一方、国際航空の輸出・輸入ではマイナスとなった。前期（2010年10～12月）実績と比較すると、外貿コンテナの輸出では強含み横ばいで推移したが、それ以外の機関では前期（2010年10～12月）実績より低下した。

■ 2011年4～6月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナ、国際航空とも、輸出では小幅の低下がみられる一方で、輸入では上昇する見通しである。外貿コンテナでは、輸出・輸入ともプラスを維持するが、国際航空では水面下の動きが続くとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し





(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械など5業種がプラス、食料品・飲料など4業種がゼロ水準で、生産財卸など6業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス7で、前期（2010年10～12月）実績との比較では強含み横ばいとなった。

■ 2011年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械がプラスに上昇し、鉄鋼・非鉄および金属製品もゼロ水準まで戻す一方、消費財卸がマイナスに落ち込み、窯業・土石もゼロ水準まで下降することなどにより、業種全体の『荷動き指数』は弱含み横ばいで推移する。この結果、荷動きの増勢はやや弱まる見通しである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	14	14	72	14	0	14	7	86	7	0
	繊維・衣服	12	8	75	17	△9	12	8	75	17	△9
	木材・家具	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	パルプ・紙	16	12	69	19	△7	16	18	44	38	△20
	化学・プラスチック	53	25	68	7	18	53	21	74	5	16
	窯業・土石	22	32	50	18	14	22	23	54	23	0
	鉄鋼・非鉄	41	12	68	20	△8	41	15	70	15	0
	金属製品	15	7	80	13	△6	15	7	86	7	0
	一般機械	61	39	43	18	21	61	30	51	19	11
	電気機械	52	25	46	29	△4	51	25	55	20	5
	輸送用機械	49	27	61	12	15	48	23	63	14	9
精密機械	12	8	84	8	0	12	8	84	8	0	
その他	24	29	54	17	12	24	42	42	16	26	
計	377	24	60	16	8	375	22	63	15	7	
卸売業	生産財	8	25	25	50	△25	8	38	12	50	△12
	消費財	7	29	42	29	0	7	14	43	43	△29
	計	15	27	33	40	△13	15	27	27	46	△19
合計	392	24	59	17	7	390	22	62	16	6	

## (2) 外貿コンテナ - 輸入 -

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、精密機械など9業種がプラス、電気機械および生産財卸がゼロ水準で、パルプ・紙など4業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス1で、前期（2010年10～12月）実績より7ポイント低下した。

■ 2011年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械がプラスに浮上し、パルプ・紙もゼロ水準まで戻すことなどにより、業種全体の『荷動き指数』は4ポイント上昇してプラス5と見込まれる。このため、緩やかながら荷動きの拡大基調が続く見通しである。

### 外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業 種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	17	24	59	17	7	17	29	65	6	23
	繊維・衣服	15	20	67	13	7	15	20	67	13	7
	木材・家具	12	17	75	8	9	12	8	84	8	0
	パルプ・紙	11	9	64	27	△18	11	27	46	27	0
	化学・プラスチック	48	19	67	14	5	48	17	71	12	5
	窯業・土石	24	29	50	21	8	24	33	63	4	29
	鉄鋼・非鉄	34	11	71	18	△7	34	11	71	18	△7
	金属製品	15	0	93	7	△7	15	0	93	7	△7
	一般機械	60	27	48	25	2	60	22	56	22	0
	電気機械	55	22	56	22	0	54	22	61	17	5
	輸送用機械	46	20	65	15	5	46	22	61	17	5
	精密機械	10	30	50	20	10	10	30	50	20	10
その他	28	29	46	25	4	28	32	47	21	11	
計	375	21	60	19	2	374	21	63	16	5	
卸 売 業	生産財	12	17	66	17	0	12	17	66	17	0
	消費財	14	14	57	29	△15	14	14	57	29	△15
	計	26	15	62	23	△8	26	15	62	23	△8
合計	401	20	61	19	1	400	21	63	16	5	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械が唯一プラスを示し、木材・家具など5業種がゼロ水準、生産財卸など9業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△8で、前期（2010年10～12月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械、輸送用機械、消費財卸がマイナスに落ち込む以外は大きな動きはみられず、業種全体の『荷動き指数』は弱含み横ばいの推移となろう。この結果、荷動きは減退圧力が若干強まる見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	8	0	75	25	△ 25	8	0	88	12	△ 12
	繊維・衣服	11	0	91	9	△ 9	11	0	91	9	△ 9
	木材・家具	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0
	パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
	化学・プラスチック	27	4	81	15	△ 11	27	11	74	15	△ 4
	窯業・土石	13	8	46	46	△ 38	13	8	54	38	△ 30
	鉄鋼・非鉄	22	14	59	27	△ 13	22	0	73	27	△ 27
	金属製品	16	13	56	31	△ 18	16	19	50	31	△ 12
	一般機械	65	26	59	15	11	65	20	65	15	5
	電気機械	71	24	52	24	0	71	24	51	25	△ 1
	輸送用機械	30	20	60	20	0	29	10	73	17	△ 7
	精密機械	13	8	77	15	△ 7	13	8	77	15	△ 7
	その他	14	7	43	50	△ 43	14	7	57	36	△ 29
計	293	16	61	23	△ 7	292	14	65	21	△ 7	
卸 売 業	生産財	8	12	13	75	△ 63	8	12	13	75	△ 63
	消費財	6	17	66	17	0	6	0	67	33	△ 33
	計	14	14	36	50	△ 36	14	7	36	57	△ 50
合計	307	16	60	24	△ 8	306	14	63	23	△ 9	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、電気機械が唯一プラス、パルプ・紙など3業種がゼロ水準で、木材・家具など11業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△8で、前期(2010年10～12月)実績からは6ポイント低下した。

■ 2011年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料がゼロ水準まで戻す一方、消費財卸がマイナスに沈む以外は大きな動きはみられない。この結果、業種全体の『荷動き指数』は強含み横ばいの推移が見込まれ、荷動きの減退が続く見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

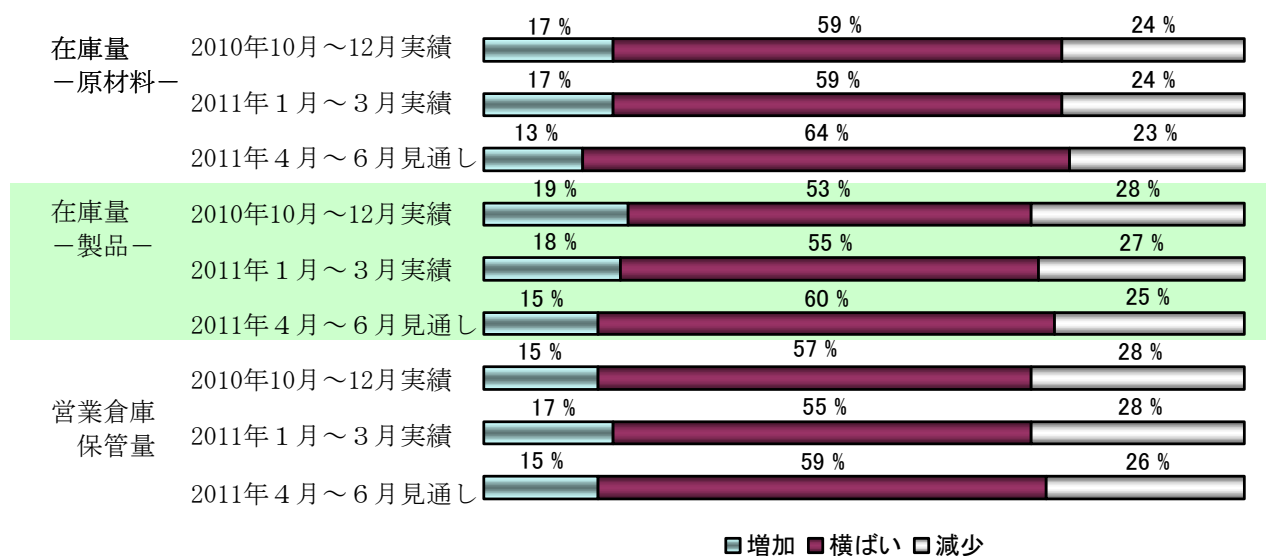
業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	9	0	89	11	△ 11	9	0	100	0	0
	繊維・衣服	9	11	67	22	△ 11	9	11	67	22	△ 11
	木材・家具	4	0	75	25	△ 25	4	0	50	50	△ 50
	パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
	化学・プラスチック	25	0	80	20	△ 20	25	4	72	24	△ 20
	窯業・土石	13	8	69	23	△ 15	13	8	69	23	△ 15
	鉄鋼・非鉄	17	6	76	18	△ 12	17	6	76	18	△ 12
	金属製品	12	17	58	25	△ 8	11	9	73	18	△ 9
	一般機械	53	11	72	17	△ 6	54	11	74	15	△ 4
	電気機械	62	19	65	16	3	62	23	60	17	6
	輸送用機械	25	4	84	12	△ 8	25	8	80	12	△ 4
	精密機械	12	0	83	17	△ 17	12	0	83	17	△ 17
	その他	13	15	47	38	△ 23	14	14	50	36	△ 22
計	255	10	72	18	△ 8	256	11	71	18	△ 7	
卸売業	生産財	11	27	46	27	0	11	27	46	27	0
	消費財	7	14	72	14	0	7	0	71	29	△ 29
	計	18	22	56	22	0	18	16	56	28	△ 12
合計	273	11	70	19	△ 8	274	12	69	19	△ 7	

#### － 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2011年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも『動向指数』はマイナスとなった。前期（2010年10～12月）実績との比較では、原材料在庫および製品在庫では横ばいで推移し、営業倉庫保管量では『動向指数』が若干改善した。

■ 2011年4～6月の見通しについては、原材料在庫および製品在庫では『動向指数』が悪化する一方、営業倉庫保管量では横ばいで推移する。いずれの『動向指数』も2ケタのマイナスを示し、在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減がいつそう進む見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、化学・プラスチックなど3業種がプラスで、残り12業種はマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△7で、前期（2010年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈むほか、一般機械もゼロ水準まで落ち込み、プラスの業種は化学・プラスチックのみとなる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は3ポイント低下して△10となり、原材料在庫の圧縮が進むとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	85	13	56	31	△18	84	11	65	24	△13
	繊維・衣服	42	14	55	31	△17	42	12	55	33	△21
	木材・家具	40	12	63	25	△13	40	0	70	30	△30
	パルプ・紙	39	13	59	28	△15	39	8	77	15	△7
	化学・プラスチック	97	20	66	14	6	97	15	74	11	4
	窯業・土石	42	12	67	21	△9	41	17	61	22	△5
	鉄鋼・非鉄	90	18	61	21	△3	90	12	68	20	△8
	金属製品	48	16	63	21	△5	48	13	60	27	△14
	一般機械	85	22	58	20	2	85	18	64	18	0
	電気機械	118	22	53	25	△3	117	18	56	26	△8
	輸送用機械	76	25	55	20	5	76	17	59	24	△7
精密機械	15	20	47	33	△13	15	13	54	33	△20	
その他	52	11	62	27	△16	51	10	61	29	△19	
計	829	18	59	23	△5	825	13	64	23	△10	
卸売業	生産財	34	3	62	35	△32	34	6	62	32	△26
	消費財	28	7	61	32	△25	28	0	64	36	△36
	計	62	5	61	34	△29	62	3	63	34	△31
合計	891	17	59	24	△7	887	13	64	23	△10	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、化学・プラスチックおよび一般機械の2業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△9で、前期（2010年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに浮上し、パルプ・紙もゼロ水準に戻すものの、輸送用機械はマイナスに沈み、繊維・衣服や木材・家具などでもマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は弱含み横ばいで推移し、製品在庫は圧縮圧力が強まる見通しである。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	87	8	54	38	△30	86	8	63	29	△21
	繊維・衣服	44	25	39	36	△11	44	13	48	39	△26
	木材・家具	38	18	53	29	△11	38	3	63	34	△31
	パルプ・紙	43	16	49	35	△19	43	16	68	16	0
	化学・プラスチック	102	25	56	19	6	102	22	64	14	8
	窯業・土石	43	16	47	37	△21	43	26	51	23	3
	鉄鋼・非鉄	92	13	67	20	△7	92	8	74	18	△10
	金属製品	48	8	59	33	△25	48	15	56	29	△14
	一般機械	87	26	54	20	6	86	22	58	20	2
	電気機械	123	21	51	28	△7	122	17	53	30	△13
	輸送用機械	79	22	56	22	0	77	17	61	22	△5
	精密機械	15	27	40	33	△6	15	20	47	33	△13
	その他	52	13	58	29	△16	51	8	61	31	△23
計	853	18	55	27	△9	847	15	60	25	△10	
卸売業	生産財	52	15	58	27	△12	52	17	56	27	△10
	消費財	39	10	62	28	△18	39	10	64	26	△16
	計	91	13	60	27	△14	91	14	60	26	△12
合計	944	18	55	27	△9	938	15	60	25	△10	

### (3) 営業倉庫保管量

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、精密機械およびその他の製造業がプラス、電気機械がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△11で、前期（2010年10～12月）実績より2ポイント改善した。

■ 2011年4～6月の『保管動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに浮上し、一般機械もゼロ水準まで戻す一方、電気機械およびその他の製造業がマイナスに沈む。業種全体の『保管動向指数』は横ばいで推移する見込みで、営業倉庫保管量の削減の動きに変化はない。

#### 営業倉庫保管量の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	68	11	49	40	△ 29	68	18	53	29	△ 11
	繊維・衣服	23	13	52	35	△ 22	23	9	65	26	△ 17
	木材・家具	26	19	43	38	△ 19	25	4	56	40	△ 36
	パルプ・紙	37	14	51	35	△ 21	37	13	65	22	△ 9
	化学・プラスチック	84	19	57	24	△ 5	84	21	59	20	1
	窯業・土石	25	12	60	28	△ 16	25	8	68	24	△ 16
	鉄鋼・非鉄	63	14	67	19	△ 5	63	14	69	17	△ 3
	金属製品	27	18	56	26	△ 8	27	18	52	30	△ 12
	一般機械	62	23	48	29	△ 6	63	22	56	22	0
	電気機械	83	25	50	25	0	82	17	55	28	△ 11
	輸送用機械	48	19	60	21	△ 2	49	14	62	24	△ 10
	精密機械	13	23	62	15	8	13	15	70	15	0
その他	38	24	61	15	9	37	16	60	24	△ 8	
計	597	18	55	27	△ 9	596	16	60	24	△ 8	
卸売業	生産財	41	10	61	29	△ 19	40	7	63	30	△ 23
	消費財	34	9	53	38	△ 29	34	3	56	41	△ 38
	計	75	9	58	33	△ 24	74	5	60	35	△ 30
合計	672	17	55	28	△ 11	670	15	59	26	△ 11	

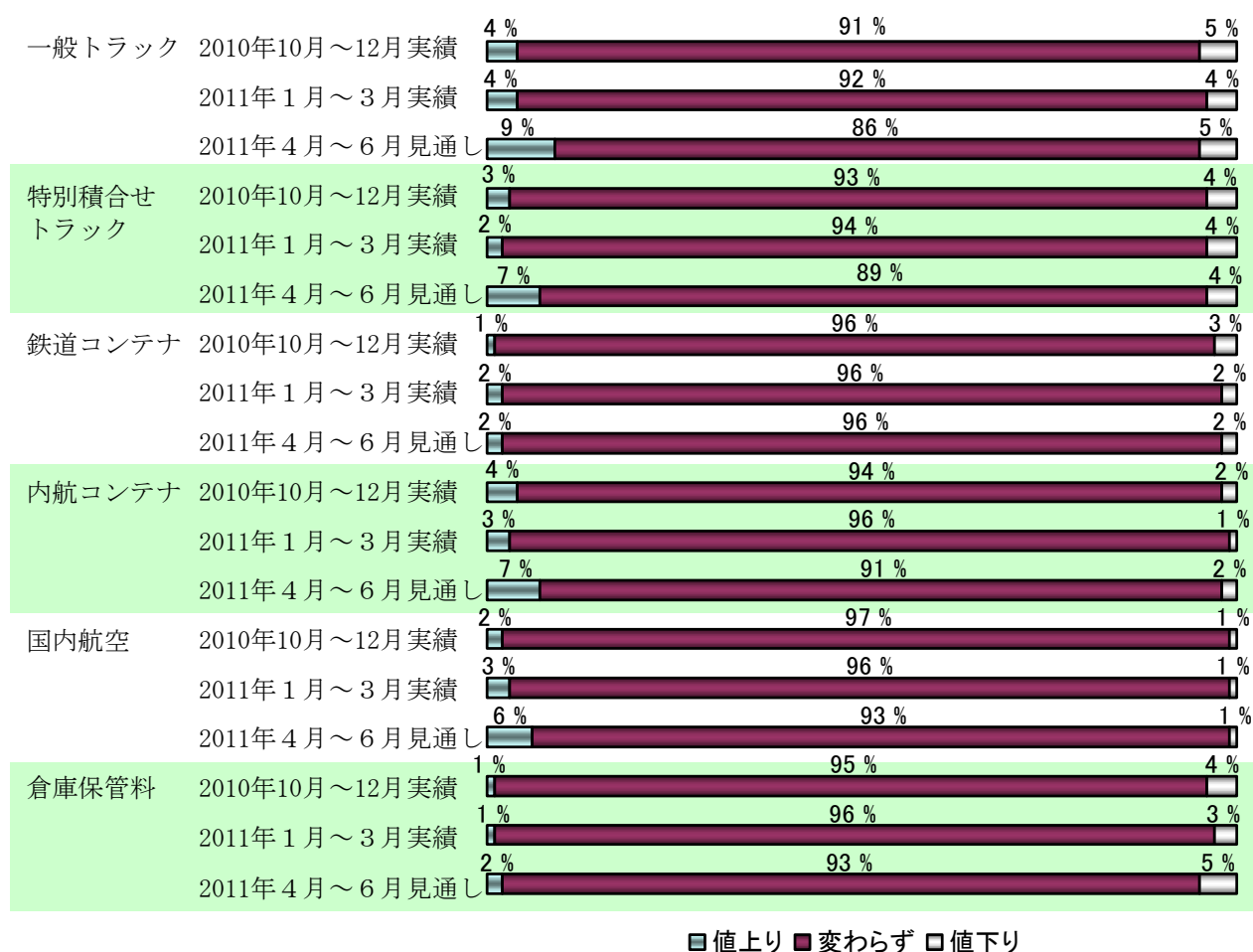


## － 5. 運賃・料金の動向－

■ 2011年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関でゼロ水準±2の範囲内に収まり、概ね現状維持の傾向が強い。前期（2010年10～12月）実績との比較では、『動向指数』は小幅の変化で推移した。

■ 2011年4～6月の『動向指数』見通しについては、倉庫保管料では△3とやや低下方向に動き、鉄道コンテナでもゼロ水準にとどまる一方、その他の機関では『動向指数』が小幅ながらもプラスを示した。この結果、輸送機関においては、運賃水準は総じて緩やかな上昇方向に向かう見込みである。

運賃・料金の実績と見通し



## (1) 一般トラック運賃

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など7業種がプラス、パルプ・紙など4業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期(2010年10～12月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料など5業種がプラスに浮上するなど、多くの業種で上昇の動きがみられる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス4と2009年1～3月以来のプラス水準に浮上し、運賃水準は上昇に向かう見通しである。

### 一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	95	3	91	6	△3	94	10	87	3	7
	繊維・衣服	40	2	98	0	2	40	10	90	0	10
	木材・家具	38	8	92	0	8	37	14	86	0	14
	パルプ・紙	44	7	86	7	0	44	14	80	6	8
	化学・プラスチック	103	1	95	4	△3	103	3	91	6	△3
	窯業・土石	45	9	87	4	5	45	16	78	6	10
	鉄鋼・非鉄	96	7	86	7	0	96	13	77	10	3
	金属製品	53	2	92	6	△4	53	3	89	8	△5
	一般機械	92	2	96	2	0	92	8	88	4	4
	電気機械	122	5	92	3	2	121	12	85	3	9
	輸送用機械	83	6	92	2	4	81	9	89	2	7
	精密機械	16	0	75	25	△25	15	0	80	20	△20
	その他	52	4	96	0	4	51	8	92	0	8
計	879	4	92	4	0	872	9	86	5	4	
卸売業	生産財	54	6	93	1	5	53	11	83	6	5
	消費財	45	2	96	2	0	45	4	94	2	2
	計	99	4	94	2	2	98	8	88	4	4
合計	978	4	92	4	0	970	9	86	5	4	

## (2) 特別積合せトラック運賃

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など6業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、金属製品など8業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期（2010年10～12月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料など4業種がプラスに浮上し、その他の製造業もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス3と2009年1～3月以来のプラス水準に浮上し、運賃水準は上昇に向かう見通しである。

### 特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業 種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	66	0	95	5	△5	66	6	89	5	1
	繊維・衣服	34	6	91	3	3	34	9	88	3	6
	木材・家具	24	8	92	0	8	24	8	92	0	8
	パルプ・紙	27	7	89	4	3	27	19	78	3	16
	化学・プラスチック	86	0	98	2	△2	85	5	92	3	2
	窯業・土石	32	9	88	3	6	32	16	81	3	13
	鉄鋼・非鉄	58	2	93	5	△3	58	9	86	5	4
	金属製品	38	0	89	11	△11	38	3	89	8	△5
	一般機械	76	1	99	0	1	75	7	93	0	7
	電気機械	99	2	93	5	△3	98	7	90	3	4
	輸送用機械	58	3	94	3	0	57	4	91	5	△1
	精密機械	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
	その他	40	0	95	5	△5	38	8	84	8	0
計	649	2	94	4	△2	643	7	89	4	3	
卸 売 業	生産財	37	5	95	0	5	37	11	86	3	8
	消費財	28	0	96	4	△4	28	0	96	4	△4
	計	65	3	95	2	1	65	6	91	3	3
合計	714	2	94	4	△2	708	7	89	4	3	

### (3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、輸送用機械など4業種がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、精密機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期（2010年10～12月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 2011年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙および生産財卸がプラスに上昇する一方、一般機械、電気機械、消費財卸がマイナスに沈むなど業種によりバラツキがみられる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移し、運賃水準は現状維持で推移する見通しである。

#### 鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	46	4	94	2	2	46	4	96	0	4
	繊維・衣服	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	木材・家具	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
	パルプ・紙	32	3	91	6	△3	32	3	97	0	3
	化学・プラスチック	77	0	96	4	△4	77	0	96	4	△4
	窯業・土石	20	0	95	5	△5	20	0	95	5	△5
	鉄鋼・非鉄	35	0	100	0	0	35	0	100	0	0
	金属製品	19	0	95	5	△5	19	0	95	5	△5
	一般機械	35	3	97	0	3	35	0	97	3	△3
	電気機械	40	0	100	0	0	40	0	98	2	△2
	輸送用機械	24	8	92	0	8	24	8	92	0	8
	精密機械	8	0	88	12	△12	7	0	86	14	△14
	その他	23	0	96	4	△4	23	0	96	4	△4
計	386	1	96	3	△2	385	2	96	2	0	
卸売業	生産財	11	0	100	0	0	11	9	91	0	9
	消費財	11	0	100	0	0	11	0	91	9	△9
	計	22	0	100	0	0	22	5	90	5	0
合計	408	2	96	2	0	407	2	96	2	0	

#### (4) 内航コンテナ運賃

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、消費財卸など6業種がプラス、食料品・飲料など6業種がゼロ水準で、精密機械など3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（2010年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料および鉄鋼・非鉄がプラスに浮上し、パルプ・紙および化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す。業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント上昇してプラス5と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が若干強まるとみられる。

#### 内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	21	0	100	0	0	21	5	95	0	5
	繊維・衣服	9	11	89	0	11	9	22	78	0	22
	木材・家具	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	パルプ・紙	15	0	93	7	△7	15	7	86	7	0
	化学・プラスチック	46	0	98	2	△2	44	2	96	2	0
	窯業・土石	15	7	93	0	7	15	27	73	0	27
	鉄鋼・非鉄	24	4	92	4	0	24	8	92	0	8
	金属製品	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	一般機械	31	0	100	0	0	31	0	100	0	0
	電気機械	30	0	100	0	0	30	3	94	3	0
	輸送用機械	19	5	95	0	5	19	5	95	0	5
	精密機械	6	0	83	17	△17	5	0	80	20	△20
	その他	17	6	94	0	6	17	24	76	0	24
計	252	2	96	2	0	249	7	91	2	5	
卸売業	生産財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	消費財	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	計	15	7	93	0	7	15	7	93	0	7
合計	267	3	96	1	2	264	7	91	2	5	

## (5) 国内航空運賃

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など6業種がプラス、食料品・飲料など7業種がゼロ水準で、精密機械およびその他の製造業の2業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（2010年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄およびその他の製造業がプラスに浮上するほか、窯業・土石、電気機械、生産財卸でもプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント上昇してプラス5と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が若干強まるとみられる。

### 国内航空運賃の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0
	繊維・衣服	12	8	92	0	8	12	8	92	0	8
	木材・家具	6	17	83	0	17	6	17	83	0	17
	パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	化学・プラスチック	34	0	100	0	0	34	0	100	0	0
	窯業・土石	13	8	92	0	8	13	15	85	0	15
	鉄鋼・非鉄	17	0	100	0	0	17	6	94	0	6
	金属製品	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
	一般機械	49	4	96	0	4	49	2	98	0	2
	電気機械	63	6	92	2	4	63	14	83	3	11
	輸送用機械	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0
	精密機械	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
	その他	16	0	94	6	△6	17	12	82	6	6
計	288	3	96	1	2	289	6	93	1	5	
卸売業	生産財	15	7	93	0	7	15	20	80	0	20
	消費財	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	計	24	4	96	0	4	24	12	88	0	12
合計	312	3	96	1	2	313	6	93	1	5	

## (6) 営業倉庫保管料金

■ 2011年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙、その他の製造業がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、残り7業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』は△2で、前期（2010年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、輸送用機械およびその他の製造業がマイナスに落ち込むなど、一部業種を除いて大きな動きはみられず、業種全体の『料金動向指数』も弱含み横ばいで推移しよう。このため、料金水準は低下が続く見通しである。

### 営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	57	4	95	1	3	57	4	95	1	3
	繊維・衣服	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0
	木材・家具	14	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	パルプ・紙	33	3	97	0	3	33	6	91	3	3
	化学・プラスチック	80	2	94	4	△2	80	1	93	6	△5
	窯業・土石	20	0	90	10	△10	19	0	84	16	△16
	鉄鋼・非鉄	47	2	96	2	0	47	4	92	4	0
	金属製品	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0
	一般機械	61	1	92	7	△6	62	5	89	6	△1
	電気機械	75	0	95	5	△5	75	2	91	7	△5
	輸送用機械	44	0	100	0	0	44	0	98	2	△2
	精密機械	12	0	75	25	△25	12	0	83	17	△17
	その他	37	3	97	0	3	37	0	95	5	△5
計	518	2	95	3	△1	517	2	93	5	△3	
卸売業	生産財	28	0	96	4	△4	27	0	93	7	△7
	消費財	26	0	96	4	△4	26	0	96	4	△4
	計	54	0	96	4	△4	53	0	94	6	△6
合計	572	1	96	3	△2	570	2	93	5	△3	

## － 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2011年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、その他の製造業が唯一マイナスを示し、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、残り10業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス3で、前期（2010年10～12月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2011年4～6月の『動向指数』見通しでは、金属製品など5業種がマイナスに反転する一方、木材・家具、その他の製造業、消費財卸がプラスに浮上するなど、業種によりバラツキがみられる。この結果、業種全体の『動向指数』は3ポイント上昇してプラス6となり、物流コスト割合には上昇気配が窺える。

### 物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2011年1月～3月実績					2011年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	98	22	61	17	5	98	24	67	9	15
	繊 維 ・ 衣 服	43	16	68	16	0	43	14	67	19	△ 5
	木 材 ・ 家 具	39	13	74	13	0	39	26	67	7	19
	パ ル プ ・ 紙	44	20	66	14	6	45	27	69	4	23
	化学・プラスチック	106	12	80	8	4	106	12	79	9	3
	窯 業 ・ 土 石	47	19	68	13	6	47	28	68	4	24
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	100	14	74	12	2	100	11	76	13	△ 2
	金 属 製 品	54	20	67	13	7	54	9	71	20	△ 11
	一 般 機 械	92	17	67	16	1	91	16	66	18	△ 2
	電 気 機 械	130	18	66	16	2	130	21	62	17	4
	輸 送 用 機 械	86	16	70	14	2	85	14	74	12	2
	精 密 機 械	18	11	78	11	0	18	6	83	11	△ 5
そ の 他	53	19	60	21	△ 2	51	24	59	17	7	
計	910	17	69	14	3	907	18	69	13	5	
卸 売 業	生 産 財	59	19	73	8	11	59	20	66	14	6
	消 費 財	45	16	68	16	0	45	13	78	9	4
	計	104	17	71	12	5	104	17	71	12	5
合 計	1,014	17	69	14	3	1,011	18	70	12	6	